



※「そとがき」  
外輪山を意味する古い言葉です。

# 年頭の所感 医療法人社団 坂梨会 理事長

2021年 新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナ一色の1年でした。当院においても3名の陽性者を確認し、皆様には御心配をおかけしたのではないかと思います。3名の陽性者については10日間の入院・経過観察の後、軽快・退院し



坂梨 嘉壽恵

接触のあった患者様・職員の検査及び10日経過後の再検査も全て陰性を確認しており、クラスターになることなく収まっております。関連場所の消毒も完了しており、通常どおりの診療を行っておりますので、安心して御通院・入院相談等いただけます。このような状況の中、12月15日に「全世代型社会保障改革の方針」が閣議決定され、その中で、後期高齢者のうち課税所得が28万円以上の世帯及び年収200万円以上（単身世帯の場合。複数世帯の場合は、後期高齢者の年収合計が320万円以上）の方は医療費の窓口負担割合を2割に引き上げるとしています。

また、地域医療構想による地域の病床数削減の政策も継続しており、地域への負担増とサービス低下が並行して進められています。これらの医療行政への対応を進めるため、医療法人社団坂梨会は、昨年5月に大津の医療法人社団厚生会と法人統合し、厚生会の勝久病院を阿梨花病院大津に改称し、増築した新棟の運用を8月から開始しました。阿蘇と大津・菊陽の両地域を視野に入れたサービス提供体制の基盤を整えたという意味で、昨年は飛躍の年でしたが、本年については、この基盤の上で更なる飛躍を目指すための1年と位置付けております。

坂梨会は、様々な変化に対応を進めつつも、皆様に地域での生活を安心して継続して頂くために、サービスの質を下げることなく、より上質なサービスを提供し続けていけるよう、常に工夫・努力を重ね職員一丸となって邁進していく所存でございます。

本年も、医療法人社団坂梨会の阿蘇温泉病院・阿梨花病院大津を中心とした医療・介護・福祉施設を宜しくお願い申し上げます



医療法人社団 坂梨会  
基本理念  
よりよき人間性を  
よりよき環境を  
よりよき医療・介護を

発行  
医療法人社団  
坂梨会 広報課

## 1月号 Contents

- ◆ 理事長・院長 新年の挨拶 ◆ 各施設長新年の挨拶
- ◆ 地域支援センター・看護部総師長 新年の挨拶 ◆ 中学生からの手紙 ◆ 12月号
- ◆ そとがき訂正とお詫び ◆ 診療日程

# 新年の御挨拶

阿蘇温泉病院  
院長 横山 芳樹

新年あけましておめでとうございます。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

今年も帰省する人がだいぶ減少しているとのこと、少し寂しい思いのお正月になっていらっしゃる方もいらっしゃるかもしれません。昨年は、まさにコロナで始まり最後までコロナに引きずられて、終わった1年でした。ご承知のように、当院でも昨年末、職員に3名のコロナ感染陽性者が確認され、ご心配をおかけしましたことを心苦しく思っています。幸いにも外来、および入院患者様には1名の発生もなく、さらにクラスターに進展しなかったことに、感謝しております。今年も新型コロナウイルスは指定感染症としての期間が1年間延長される見込みです。ワクチンの開発、供給も思ったより早いスピードで進んでいますが、しばらくは現状のような不自由な状況が続くものと思われま。病院としては、皆さまが体調不良にもかかわらず、コロナを恐れて外来受診を控えたため病気が悪化してしまうことは、避けるべきと考えています。当院はコロナウイルス検出のためのLAMP法というPCRと同等の核酸増幅検査機器を用意し、発熱、あるいは咽頭痛や全身倦怠感などの症状の患者様にも幅広く検査を行うと共に当職員に対しても定期的に検査しております。この検査は数時間後には結果が判明しますので、感染対策の大きな柱となっています。感染の不安がある方には、無症状でも自由診療で検査可能ですので、気軽にお問い合わせください。



このコロナ状態が早期に収束し、明るい未来が見いだせる年になることを、皆さま方と共に切に祈念いたします。

## 新年にあたって

介護老人保健施設  
愛・ライフ内牧  
施設長 許斐 康熙

明けましておめでとうございます。

コロナコロナに明け暮れた1年でしたが皆様がいかにお過ごしでしたでしょうか。私は昨年の4月半ばから約二か月半、愛・ライフに籠りきりで、さながらコロナ疎開の有様でした。幸い愛・ライフの入所者、通所者、職員からは一人もコロナの罹患者は出ませんでした。来る日も来る日も阿蘇のウマイ空気を吸っては五岳を眺め一人癒されていました。

7月半ばからやっと通常の状態に戻りましたが、それも束の間、第二・第三波の襲来と共に県境を越えての移動もままならず再び缶詰めの状態です。

全国的にもコロナ感染の拡大に歯止めがかからず、大都市圏を中心に感染は広がる一方です。勝負の三週間も空振りになり終わったようです。GOTOトラベルはGOTOトラブルになって遅ればせながら全国一時停止になりました。観光の街阿蘇への影響も大きいかと思われれます。「アマビエ」もあきれてくることでしょうか。また、コロナの感染予防に手洗い・マスクの着用が必須となり、どこに行くにもマスクをして行かねばならなくなりました。マスクの人同士がばったり出会っても一瞬相手が誰かわからないことも起こり得ます。マスクの入手にも一苦労が要る有様です。

世間では密閉・密集・密接の「三密」という言葉が金科玉条のごとく流行り、昨年の漢字にも「密」が選ばれています。このままでは日本の政治や経済、文化に庶民の暮らしにも著しい影響を及ぼしかねません。一日も早いコロナの収束を願うばかりです。



## 有料老人ホームみずあさぎ

デイサービスセンター宝泉郷  
施設長 上野 勉

## 「黙々と目の前の仕事をこなす年」

新年あけまして

おめでとうございます。

さて、みなさんご承

知の通り昨年から新型コロナウイルスに振り回されています。

未だに終息のメドが立たず「いつ当施設

にコロナが来るのだろうか？」と不安を

抱える日々が続いております。また、入

居者や利用者が安心、安全に生活できる

ように、退屈しないように、色々考えな

がら活動しておりますが「現在の対応で

大丈夫だろうか？」と少しあせる気持ち

にもなります。しかし、今年の干支は「

丑年」です。調べると、「先を急がず一歩

一歩着実に物事を進めることが大切」と

書いておりました。新型コロナウイルス

が終息するまで不安や焦りを抱えながら

ですが、「目の前の仕事を黙々こなすこ

とが将来の成功につながる。」と思ひ、職

員一同頑張つて参りますので今後ともよ

ろしくお願い致します。

余談になりますが、

この文章を考えなが

ら私の娘が丑年だつ

たと思ひ出しました。



## 新年のご挨拶

社会福祉法人 蘇峰会ケアハウス 茶寿苑

施設長 古里 政信

新年あけましておめでとうございます。

皆様は正月をどのように過ごされたでしょうか。

新春の楽しみが正月映画でした。たとえば「

男はつらいよ」シリーズ。日々の生活の中に繰

り上げられる人情噺。そこには喜びや涙があり、

時として大騒ぎ。結末は寅さんと妹さくらの駅

での別れのシーン。分かつているのですが、こ

れが不思議と観ずにはいられないのです。変わ

らない日常に安心するのでしょうか。茶寿苑に

は50名の皆さんが入居されています。お一人お

ひとりの日常があります。

昨年来、新型コロナウイルスの感染防止のた

めに入居者の皆さんの日常が大きく制限されて

きました。手指消毒・マスク着用・家族や友人

との面会の自粛・外出や一時帰宅にも制限があ

ります。申し訳ない限りです。感染防止を徹底

しながら、いかに穏やかな日常を確保してい

ただか。スタッフ一同、入

居者の皆さんと共に大切な日

常を堅守していきたいと思ひ

ます。

本年も皆様のお力添えよ

ろしくお願い申し上げます。



# 新年のご挨拶 地域支援センタースタッフ一同

## 「新春万福」



新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい私達の日常も感染予防対策を取った新しい生活様式に変わりました。地域支援センター各事業所も、安心してサービスを利用して頂けるよう感染予防に努め、職員の行動はもちろんのこと利用者様や家族様にも感染予防対策をお願いしご協力頂きました。

今後も現在の予防対策を継続して参りますので引き続き協力をお願い致します。

本年も地域支援センタースタッフは一同「笑門来福」の気持ちで、常に笑顔で接しサービスを利用していただく皆様に多くの福を感じていただけるよう、また、安心して在宅生活を過ごして頂くお手伝いができるようサービスの充実に努めて参ります。

本年が皆様にとって健康で明るく、笑顔いっぱい福多い一年になります様にご祈念いたします。



# 新春のご挨拶



阿蘇温泉病院 看護部  
総師長 熊谷 直美



新年あけましておめでとうございます。

昨年は看護部への皆様からのご支援ありがとうございました。

2020年2月22日(土)熊本県で最初のコロナウイルス患者発生は衝撃的展開となりました。本院でも出入口を1か所とし、来院者には熱を測り、渡航歴などを伺いながら病院内に感染者を入れない努力が始まりました。患者様の面会は全て中止となり患者様・ご家族様の寂しさや不安は如何ばかりだったでしょうか。「いつか阿蘇でも発生する」と職員全員が不安な気持ちでいっぱいでした。その中で1階での面会、ガラス越しの面会、オンライン面会など様々な対応を行い患者様と御家族の気持ちに少しでも寄り添える努力を行いました。職員には帰省による感染リスクの低減のため、家族の帰省に関する制限や検査の実施をお願いしました。また、世間での集団感染が多くなれば旅行や運動会などに対しての規制を行いました。今でも県のレベルに合わせ集団での食事に関して規制しています。そのような状況の中、患者様の生活の一コマとして写真や、メッセージを送らせていただいたりしております。患者様からご家族様の年賀状は着きましたでしょうか。最後にありますが、当院でも12月4日、7日、16日にコロナウイルス感染陽性者を確認致しました。それぞれ当院にとってかけがえのない職員ですので3名とも年末までに退院し自宅へ戻ることができ本当に安心いたしました。ご心配をおかけした方々にはお詫び申し上げます。

## 阿蘇中学校のみなさん

ありがとうございます



今回、阿蘇中学校のみなさんより医療従事者へ励ましのお手紙を頂きました。皆様から温かい励ましの言葉にとっても勇気づけられました。今回、少しでも早い、終息を願うと共に中学生の皆さんの健康を願って職員がお礼の気持ちを込めて作成したかわいい色紙を学校に届けさせて頂きました。まだまだ緊張の日々が続きませんが、コロナに負けぬよう職員一同頑張ります。

### そとがき12月号1ページの訂正とお詫び

12月に発行しました広報誌「そとがき」の1ページ目『ノロウイルス感染症予防について』に誤解を招くような文章がありましたので、お詫び申し上げます。

#### 誤「次亜塩素酸水」の作り方

#### 正「次亜塩素酸ナトリウム液」の作り方

※次亜塩素酸ナトリウム液の使用時は、**直接触れずに家事用手袋等を着用する・手指の消毒には絶対使用しない・十分換気を行う・ほかの薬品と混ぜない等、十分な注意が必要**です